



江津高校 絵本プロジェクト

ラオスのこどもたちに絵本を届けます

江津高校の3年生の有志6人が学園祭で「絵本プロジェクト」を実施しました。不要になった絵本の回収にご協力をお願いします。

「絵本プロジェクト」とは？

ラオスでは教育の整備がまだ不十分で、子どもの本も少なく本屋や図書館がほとんどありません。今回、「ラオスのこども」という団体が、ラオスの絵本作家の育成や絵本の出版や学校図書館の開設を支援して、絵本と読書を広げる活動を行っていることを知りました。そこで、私たちは「日本の絵本にラオス語の翻訳シートを貼って送る」活動への協力を計画しました。



きっかけ

江津高校の学習アシスタントである浦辺太一さん(島根県立大学4年生)の発表を、バーチャル国際交流会議で聞きました。浦辺さんがラオスを訪れた際の活動報告は 図書館をテーマとした話で、ラオス語絵本プロジェクトを知るきっかけとなりました。地域活動の意義を改めて感じ、自分たちに何かできることはないかと考えさせられました。



浦辺さんの話を聞いて...

- ・自分の住んでいる日本がどれだけ裕福な国かがわかった。
- ・興味を持ってやろうと決めたら始める実行力がすごいと思った。
- ・自分も他の国々に行って何か手伝いをしたいと思った。
- ・思いを持って行動するとつながりが増えるということが分かった。

次頁の絵本リストに載っている絵本(翻訳可能)を中心に集めたいと思いますが、リストに載っていない絵本でも大歓迎です。リスト以外の絵本は国内で活用いただけるようにします。

- * 寄贈箱 設置期間 **10/1(金) ~ 10/29(金)**
- * 寄贈箱 設置場所 **・メディアセンター1階(図書館付近)**
・メディアセンター2階(連携交流課)



私の絵本 ラオスの子どもに ラオス語絵本プロジェクト



～日本の絵本にラオス語翻訳を貼ってラオスに送る、あなたの活動です～

ラオスでは教育の整備がまだ不十分で、子どもの本も少なく、本屋や図書館がほとんどありません。そこで「ラオスのこども」は、ラオスで絵本作家の育成や絵本の出版、学校図書室の開設を支援し、絵本と読書を広める活動をしています。これまでにラオスで出版した絵本は約220種類、約92万冊。日本からも約1万冊を届けましたが、数も種類もまだまだ足りません。日本からの絵本は楽しいだけでなく、世界には色々な価値観や暮らしがあることを、ラオスの子どもたちに伝えてくれます。その様々な表現方法は、ラオス人作家の参考にもなっています。

- 1 絵本リストに載っている絵本を集めます。
新品の絵本、または古本も受け付けております。

- 2 プロジェクトに参加申し込み！
郵便、電子メール、FAXのどれかで、東京事務所に連絡します。
絵本のタイトル、お名前・住所・電話番号をお忘れなく。

- 3 ラオス語翻訳セットが届いたら、中身を確認！
「貼りつけ作業の手引き」「翻訳シート」「絵本の送りかた」の3点。
お届けに10日ほどかかることもあります。お急ぎの方はご相談を。

- 4 参加費をお支払い下さい。
参加費 $(250 \text{ 円} \times \text{絵本の数}) + \text{翻訳セット送料 (実費)}$ をA またはB の方法で。(払込用紙を、翻訳セットに同封しております。)
A：合計額の郵便切手を東京事務所に郵送
B：郵便振込 00140-6-462494 ラオスのこども

- 5 ラオス語絵本を作る
セットに同封されている「貼りつけ作業の手引き」を見ながら、「翻訳シート」を絵本に貼ります。



- 6 絵本を東京事務所に送る
完成した絵本は、10冊以下の場合、東京事務所までお送りください。
10冊を超える場合は、ラオス事務所への直接送付をお願いしたく、事前に東京事務所までご連絡ください。

- 7 絵本が子どもたちに届く
到着した絵本をラオス事務所で整理。
ラオス各地の学校図書館などへ、確実に届けます。

◎プロジェクトにご参加くださった方には、ニュースレターをお送りしています。
参加直後のニュースレターには、お名前が掲載されます。
匿名をご希望される方は、事前にお知らせください。



特定非営利活動法人ラオスのこども
〒143-0025 東京都大田区南馬込 6-29-12-303 MOBILE 090-9641-7027
TEL/FAX 03-3755-1603 E-mail: aktk@deknoybo.net



Facebook ページはこちら↑